

一般質問 議:議員/理:理事者

- 観光について
- 教育会館の改修に伴う今後のビジョンについて



市議会 石垣智史議員



議 市では外国人観光客向けの多言語対応やデジタル情報提供が十分ではなく、訪問者が迷いやすい状況である。多言語リーフレットの配布や、観光・交通・飲食情報に繋がるQRコード付き看板の設置などの整備が必要だと考えるが、行政の対応方針を伺う。

理 本市を訪れる外国人観光客は増えており、インバウンド受入環境の整備は急務。勝山市観光まちづくり株式会社では、インターネット上に飲食店情報を掲載する講座や、市内バス停の情報提供などの取組を開始するほか、市内事業者がインバウンド受入対応策を学ぶ「インバウンドラボ」を始動し、参加者拡大を図っている。この枠組みを活用して関係団体や事業者、市民と一体となり、受入機運を高めていく。また市では、市内交通等の看板の外国語対応や新たな二次交通対策を検討中。さらに永平寺町・あわら市・坂井市・加賀市と組織する越前加賀インバウンド推進機構の中で広域的なインバウンド招聘や受け入れを検討する。

議 教育会館の改修にあたり、大野市のような先進的な施設整備を望む声がある一方で、中学校建替えなど他の公共事業との予算調整も必要である。今回の改修工事の規模感や、人口減少を踏まえた周辺施設の再整備に関する行政のビジョン、財源を考慮した将来像を伺う。

理 教育会館は、1階ロビーや和室、2階の一部を中心に改修し、トイレや内装整備も計画している。中央公園のリニューアルでは、樹木や生垣の撤去、駐車場設置、周辺施設との連携を進め、エリア全体の利便性向上と魅力アップを図る。令和7年度に実施設計、令和8年度に工事を予定。国や県の補助金を活用し市の負担軽減に努め、中心市街地の活性化を目指す。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 今後の左義長まつりのあり方について

その他の質問

- ・学校部活動の外部指導者の活用状況とその内容について



富士根信子議員



議 左義長まつりは300年以上続く伝統行事で奥越に春を呼ぶ御神火送り儀式のどんど焼きが行われている。地区の少子化、若者の土地離れによる人口減少、高齢化などで櫓を維持し地区の年番が続けられるか心配する声がある。

空き家を利用して作り物の展示、絵行燈、短冊吊り、のぼり旗の設置など左義長に関係する出来事を宿泊体験してもらうツアー、まただれでも市外の方や他の地区の方と伝統文化を未来へ受け継ぐ左義長まつりを体験して頂くことはできないか。

全国から観光客を呼べる自慢できる日本の冬の左義長まつりを多くの人に楽しんでもらえたらと願っている。所見を伺う。

理 市では左義長ばやし育成事業として、勝山左義長ばやし保存会が実施する学校での左義長ばやし披露や指導活動を支援している。勝山左義長まつり実行委員会では左義長ばやし講習会を実施し、令和6年度は延べ250人が参加した。また応援体制構築モデル事業奨励金を設け、地区外等からの応援受け入れを拡大し、まつりの担い手不足解消につなげている。

左義長まつりを体験できるツアーは文化継承や地域活性化に寄与するが、作り物制作や櫓設置などすべて体験するには1週間以上の滞在を要し、実現には宿泊施設確保や受け入れ体制など課題があるため、DMO法人や関係団体との協議が必要。今後も実行委員会を通じて各地区の意見を聞きながら、伝統文化が継続できるよう支援していく。

